

# JPDA 令和3年3月定例理事会議事録

日 時：令和3年3月10日（水）午後1時30分～午後4時50分

場 所：オンライン（zoom）

出席者：理事24名中22名（伊藤 透、井上 聡、加藤芳夫、青木（入江）あずさ、石浦弘幸、伊藤雅文、牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、竹内清高、中越 出、永田麻美、信藤洋二、松尾政明、三原美奈子、森 孝幹、山崎 茂）

監事2名中2名（時田秀久、藤田 隆）

欠席届2名（高田知之、中森恭平）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡  
時田秀久、藤田 隆

## 議事の経過

定款第31条（議長）により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに出席者24名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条（議事録）により、議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事、藤田隆監事の4名であることを確認し、議事に入る。

冒頭、伊藤理事長から、「3月11日の東日本大震災の追悼式当日には、弔旗の掲揚や震災発生時刻（午後2時46分）の黙祷で弔意表明を行ってほしい」という政府からの通達があったとの案内があった。

## ※ゴシックは承認事項

### 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会届を提出した下記の個人会員1名、法人会員1社の入会を承認した。

(1) 個人会員（1人）

<西日本>

1. 徳梅 みゆき【推薦者：時田 秀久】

(2) 法人会員（1社）

<東日本>

1. 株式会社ブラビス・インターナショナル【推薦者：笹田 陽勇】

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した下記の個人会員6名、法人会員1社の退会を承認した。

### (1) 個人会員（6人）

<東日本>

1. フミ・ササダ（ふみ・ささだ）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）
2. 高村 達夫（たかむら たつお）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）
3. 海野 加奈子（うみの かなこ）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）
4. 増山 晋平（ますやま しんぺい）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）
5. 矢野 英夫（やの ひでお）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）
6. 渡辺 禎人（わたなべ よしと）【令和3年2月末退会希望】  
（法人会員への移行のため）

### (2) 法人会員（1社）

<東日本>

1. 株式会社 電通（かぶしきかいしゃ でんつう）【令和3年3月末退会希望】  
（諸般の事情のため）

## 第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記3件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

### (1) 協賛名義使用の依頼（1件）

「第92回東京インターナショナル・ギフトショー秋2021」

「東京インターナショナル・ギフトショー秋2021 第10回LIFE×DESIGN」

【2021年10月13日（水）～15日（金） 東京ビッグサイト（東京国際展示場）

西展示棟1～4ホール/アトリウム、南展示棟1～4ホール】

主催：（株）ビジネスガイド社

### (2) 後援名義使用の依頼（2件）

1. 「インテリアライフスタイル」

【2021年5月19日（水）～21日（金） 東京ビッグサイト（東京国際展示場）

青海展示棟A・Bホール】

主催：メッセフランクフルト ジャパン株式会社

## 2. 第23回「福岡デザインアワード」

【2021年10月27日(水) 福岡県庁 講堂】

主催：福岡県産業デザイン協議会、福岡県

### 第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- |          |        |  |
|----------|--------|--|
| 伊藤理事長報告  | ・ 1/22 | 加藤専務理事パッケージデザイン功績賞特別講演会<br>・ オンライン新年会 (zoom) |
|          | ・ 1/26 | 60周年企画展打合せ (zoom)                            |
|          | ・ 2/10 | 60周年企画展打合せ (zoom)                            |
|          | ・ 2/17 | D-8運営会議 (zoom)                               |
|          | ・ 2/18 | デザイン会議・2021年予算案打合せ (zoom)                    |
|          | ・ 3/4  | 学生賞・APD他予算打合せ (zoom)                         |
|          | ・ 3/10 | 定例理事会 (zoom)                                 |
|          | ・ 3/11 | 60周年企画展打合せ (zoom)                            |
|          | ・ 3/13 | 名古屋JPDA大賞巡回展セミナー                             |
|          | ・ 3/18 | ジャパンハウスサンパウロ講演 (zoom)                        |
| 井上副理事長報告 | ・ 1/28 | 西日本委員会                                       |
|          | ・ 1/29 | 国内交流第2回オンライン交流会 (zoom)                       |
|          | ・ 2/16 | 西日本委員会                                       |
|          | ・ 2/18 | デザイン会議・2021年予算案打合せ (zoom)                    |
|          | ・ 3/4  | 学生賞・APD他予算打合せ (zoom)                         |
|          | ・ 3/5  | 西日本勉強会「SNSでつながる発信術」 (webinar+zoom)           |
|          | ・ 3/10 | 定例理事会 (zoom)                                 |
| 加藤専務理事報告 | ・ 1/22 | パッケージデザイン功績賞特別講演会・オンライン新年会 (zoom)            |
|          | ・ 1/25 | 広報誌打合せ (zoom)                                |
|          | ・ 1/26 | 60周年企画展打合せ (zoom)                            |
|          | ・ 1/29 | 国内交流第2回オンライン交流会 (zoom)                       |
|          | ・ 2/10 | 60周年企画展打合せ (zoom)                            |
|          | ・ 2/12 | パッケージデザインの学校打合せ (zoom)                       |

- ・ 2/18 デザイン会議・2021年予算案打合せ(zoom)
- ・ 2/22 パッケージデザインの学校打合せ(zoom)
- ・ 2/24 60周年企画展打合せ(zoom)
- ・ 2/25 ジャパンハウスサンパウロトークショー打合せ(zoom)
- ・ 3/4 学生賞・APD他予算打合せ(zoom)
- ・ 3/8 「おいしい東北」表彰式(zoom)
- ・ 3/10 定例理事会(zoom)
- ・ 3/11 60周年企画展打合せ(zoom)

### 第5号議案 事務局のPC購入と通信環境の改善について

渡邊事務局長より、4月1日の事務局長交代に伴う飯塚新事務局長用のノートPC購入、山本事務局員のデスクトップPC(iMac)のリース、多人数のオンライン(zoom)打合せのときに役立つスピーカーの購入、及びオンライン会議時の通信環境改善のためのNTTフレッツ光の導入についての提案があり、以下の内容が承認された。

- ・ 飯塚新事務局長使用のノートPC(MacBook Pro) : 273,680円(税込)(5年償却)⇒2020年度 備品購入費
- ・ 山本事務局員使用のデスクトップPC(iMac) : リース料 月額4,730円(税込)×60回⇒2021年度 賃借料
- ・ オンライン会議用ヤマハマイクスピーカーシステム : 56,806円(税込)⇒2020年度 備品購入費
- ・ NTTフレッツ光の導入とセキュリティの強化⇒2021年度 通信費

因みに、現在、渡邊事務局長が使っているノートPC(MacBook Pro)と南谷事務局員が使っているデスクトップPC(iMac)はずれもリースで、2022年1月に現契約が終了するが、南谷事務局員のみ新しい機種でのリース契約を続ける予定。

### 第6号議案 令和3(2021)年度の活動計画と予算案について

渡邊事務局長より、別添資料に基づき次年度事業計画(案)・収支予算(案)についての提案があり、提案通り承認された。

<事業計画(案)のポイント>

- (1) コロナ禍で開催が延期となった4つの60周年記念事業(①創作展「みらいパッケージ展」・②企画展「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」・③パッケージデザインの学校・④アジアパッケージデザイン会議)の実現と、60周年事業全ての結果をまとめた広報誌：JPDA MAGAZINE Vol.08の発刊(2022年3月)、及び若手のパッ

パッケージデザイナーの育成と発掘を意図した「学生賞」コンペ創設の準備を推進する。

(2) 60周年記念事業以外の公益事業では、コロナ禍でのセミナー・交流会等のオンライン開催の継続とハイブリッド開催（オンライン＋リアル）の検討、及び参加費のあり方の検討を進めるとともに、WebサイトやSNSを活用した発信機能の強化を図っていく。

(3) 2020年度はコロナ禍で中止を余儀なくされた収益事業（アジア学生パッケージ交流プロジェクトの受託事業）は、主催者であるアスパック協会が今後の事業継続が困難と判断し、2021年3月末をもって解散することになったため、来期は収益事業の今後の新しい可能性を探る年となる。

#### <収支予算(案)のポイント>

(1) 公益事業会計(60周年事業積立金:1,600万円の取崩含む)、収益事業会計(来期はゼロ)、法人会計を併せた協会全体の経常収益合計は85,573,000円。また、3つの会計の経常費用合計は88,016,609円となり、当期の経常増減額は-2,443,609円となる。

経常増減額がマイナスになるが、今年度は大幅なプラス(300～400万円)が見込まれる。

また、期首より極力マイナスを減らすよう努めたい。

因みに、経常費用の公益比率は80.3%となる。

(2) 60周年事業積立金1,600万円の用途は、創作展(98万円:過去2回の創作展を加えた図録の制作を含む)、企画展(98万円:展示作品の図録制作を含む)、アジアパッケージデザイン会議(1,250万円)、広報誌作成(110万円)、学生賞準備(44万円)となっている。

(3) 経常外増減額は取崩金も含めて-16,500,000円、一般正味財産増減額は-18,943,609円、一般正味財産期末残高は20,799,818円となる。

#### 第7号議案 1～3月に開催する日本パッケージデザイン大賞2021巡回展について

渡邊事務局長より、以下の2021年1月～3月の間に開催される「日本パッケージデザイン大賞2021巡回展」についての報告があった。

(1) 「パッケージング 日本の現代デザイン」【2021年1月19日(火)～4月11日(日)】

(主催: ジャパン・ハウス サンパウロ(JHSP)、JPDA後援)

・初めての海外(ブラジル サンパウロ市)でのパッケージ展だったが、コロナ禍で土・日休館、入館者は定員の40%以下に制限という悪条件の中、1/18(プレスデー)～2/28の延べ来館者数は17,830名、また、現地からは「ブラジル人にとって日本のパッケージは目新しさがあり好評。特徴的なテーマとしてメディアからの反響が大きい」とのコメントをいただいている。

・期間中のJPDAの理事・会員によるオンラインセミナーは以下のとおり。

(1) 2/3(水): 「サントリーデザインのおもしろいはなし」

(講演者) サントリーコミュニケーションズ(株) デザイン部長 水口洋二氏

(2) 3/18(木) : 「日本の「包む」文化と現代のパッケージデザイン」

(講演者) JPDA伊藤理事長

(3) 4月上旬 : 「日伯デザイナーによる”色”についてのトークショー (タイトル未定)」

(出演者) JPDA永田理事・山崎理事

(2) 「TOKYO PACK 2021」【2021年2月24日(水)～26(金) 東京ビッグサイト】

(主催：(公社) 日本包装技術協会、JPDA後援)

- ・例年に比べて出展社、来場者とも少なく寂しいイベントとなったが、JPDA大賞巡回展ブースへの来場者は推定で1,200名(400名/1日)を越え賑わいを見せていた。
- ・熱心な見学者からは、「パッケージは奥が深く大変面白い」、「コンペへの出品はどのようにするのか」、「協会への入会を検討したい」等の声も聞かれた。

(3) 「日本パッケージデザイン大賞2021巡回展 in 名古屋」(主催：JPDA)

【2021年3月10日(水)～15日(月) 名古屋国際デザインセンター】

- ・60周年記念イベントとして、名古屋地区で久しぶりの展覧会イベント。
- ・TOKYO PACKで使った制作物を活用して会場準備は無事終了した。期間中に読売新聞中部版に大賞作品の写真が掲載される予定。
- ・3/13(土)に伊藤理事長をモデレーターに、中日本会員の平井秀和氏、小野彩子氏3名によるトークショーを予定している。

●加藤専務理事から、報告を見るとそれぞれのJPDA大賞のグラフィックイメージがバラバラなので、今後統一したイメージを制作した方がよいのではないかとのコメントがあった。

⇒伊藤理事長もこの意見に賛同し、今後の検討事項とし、コンペ委員会、出版委員会が議論してグラフィックイメージ制作を進めていくこととなった。

## 第8号議案 事務局報告

渡邊事務局長より以下の事務局報告があった。

(1) 会員情報

- ・以前理事を務めた東日本個人会員 小笠原輝彦氏の訃報とそれに伴う退会の報告。

(2) 伊藤理事長への審査員就任の依頼について

- ・(公社) 日本包装技術協会から伊藤理事長に「2021年日本パッケージングコンテスト」審査会での審査員就任の依頼があったことの報告。

(3) テレワーク助成金について

- ・(公財) 東京都しごと財団から、申請していたテレワーク助成金 517,000円(満額)の入金があったことの報告。

#### (4) 事務局の勤務体制について

- ・東京都の緊急事態宣言が解かれるまでは、事務局長を含め、事務局員全員が基本的に在宅勤務とすることの報告。

### 第9号議案 委員会報告

#### <承認事項>

##### ●アスパック（公益事業・収益事業）の収支報告

渡邊事務局長より、コロナ禍の中、全ての事業が中止となったアスパックに関する以下の収支報告があり承認された。

<公益会計> (JPDA賞の顕彰) 収入：0円、支出：0円、協会補助：300,000円、  
収支差額：+300,000円 (収入+協会補助-支出)

<収益会計> 収入：0円、支出：0円、協会補助：△122,800円  
収支差額：△122,800円

##### ●国際交流（海外視察準備）の収支報告

渡邊事務局長より、コロナ禍のため中止となった海外視察準備のための下見（候補地訪問）についての以下の収支報告があり承認された。

<公益会計> 収入：0円、支出：0円、協会補助：680,000円、  
収支差額：+680,000円

##### ●顕彰事業の収支報告

渡邊事務局長より、顕彰事業（JPDAパッケージデザイン功績賞の顕彰）の収支についての報告があり、以下の収支報告が承認された。

- ・これまでは通常総会と同日に、顕彰式と受賞者による記念講演会を実施していたが、「密」を回避するため、2021年1月22日にオンラインでの開催となった。

<公益会計> 収入：0円、支出：307,261円、協会補助：300,000円  
収支差額：△7,261円

##### ●東日本セミナー（トークカフェ）の収支報告

渡邊事務局長より、コロナ禍で中止となった2020年度の東日本トークカフェの収支報告があり承認された。

<公益会計> 収入：0円、支出：0円、協会補助：52,500円、収支差額：+52,500円

##### ●東日本(オンライン記念講演会とオンライン新年会)の活動報告と収支報告

竹内理事より、コロナ禍のため全てがオンラインでの開催となった新年デザイン交換会についての活動報告があり、以下の収支報告が承認された。

- ・開催日：2021年1月22日(金)
- ・出席者：第一部（パッケージデザイン功績賞受賞者の記念講演会） 126名

## 第二部（オンライン新年会） 100名

<公益会計> 収入：0円、支出：20,492円、協会補助：92,500円

収支差額：+72,008円

### ●アーカイブ年間の収支報告

青木（入江）理事より、2020年度の活動報告（計画していた第3回セミナーが中止となったが、過去の大賞・金賞受賞者へのインタビュー録画「声のアーカイブ」（佐藤昭夫氏、河北秀也氏の2名）の制作と保管されていない過去の大賞・金賞受賞作品の収集は継続して行った）と、年間の収支報告があり、以下の収支報告が承認された。

<公益会計> 収入：0円、支出：759,978円、協会補助：847,100円

収支差額：+87,122円

### ●デザイン保護の活動報告

担当理事の高田理事が急遽欠席のため、渡邊事務局長が代わりに活動報告を行った。

- ・2021年3月3日のオンライン知財セミナー「ピクスタに聞く！ストックフォトを安心して活用するための実践講座」（参加費無料）は、テーマについての関心が高く、申込者142名に対し112名の参加者（出席率78.9%）があっただけでなく、参加者に飽きさせない工夫も交え、オンラインの特長を生かしたセミナーだったとのこと。
- ・年間の収支については、次回4月の臨時理事会で高田理事から報告してもらうこととなった。

### ●出版（年鑑・インデックス）の収支報告

山崎理事より、今年度の出版事業について以下の収支報告があり承認された。

(1) 『年鑑 日本のパッケージデザイン2021』

<公益会計> 収入：0円、支出：19,800円、協会補助：164,000円

収支差額：+144,200円

(2) 60周年記念『Package Design Index OUR BEST WORKS』

<公益会計> 収入：266,346円、支出：118,800円、協会補助：▲304,400円

収支差額：▲162,970円

- ・伊藤理事長より、「Indexの印税収入が減っているのは本が売れなくなってきていることが要因なのか」との質問があった。

山崎理事からは「以前1,500部印刷していたのが現在では1,000部程度になってきている。これは本が売れなくてきていることもあるが、取り扱い店が減ってきていることが大きな要因だと思う」とのコメントがあった。

### ●総務（デジタル会員名簿・事業カレンダー：法人会計）の収支報告

渡邊事務局長より、「事業カレンダーは従来通り紙ベースで作成したが、前年度まで印刷製本していた会員名簿はデジタル化したため、Webサイトの制作費のみとなった」との報告と、以

下の収支報告があり承認された。

<法人会計> 収入：0円、支出：316,800円、協会補助：295,000円

収支差額：▲21,800円

<報告事項>

●60周年記念事業パッケージデザインの学校

小川(亮)理事より、資料に基づき、昨年からの延期となった「パッケージデザインの学校」について以下の報告があった。

- ・2021年6月スタートを目標に、オンラインでの開催とする。
- ・現在、オンラインでの講座を引き受けてくれる講師とスケジュールを確認中。
- ・期間は2021年6月～8月を目安に、毎週木曜15:00～16:30の90分とする。
- ・講座単位でも受講可能とし、Webサイトの構築と請求・支払いフローを整理中。(講座毎の購入の場合はクレジット決済、全講座セット購入の場合は請求書発送を検討)
- ・受講価格は1講座5,000円(会員は20%割引の4,000円)、※全10講座セット購入は30,000円(会員は24,000円)とし、できれば黒字化を目指す。  
※講座数は現在調整中だが、第1回目の講座は伊藤理事長と加藤校長との対談とし、この講座に限り無料とする。
- ・外部へのアナウンスは4月中～下旬とする。また、時間的に参加できない方のために2週間限定の録画提供を検討する。
- ・加藤校長(専務理事)から、「参加費については今後のトライアルと考えており、他の委員会のオンラインセミナーも参考にしてほしい」とのコメントがあり、伊藤理事長からは、「是非協会内の共有化をお願いしたい」との補足があった。

●国内交流

加藤(桑)理事より、資料に基づき、第2回オンライン交流会「みんなでつなごう! デザインの輪!」(ブラビスインターナショナルの訪問)について、以下の活動報告があった。

- ・開催日：2021年1月29日(金) 15:00～17:00
- ・開催方法：オンライン(Zoom)、  
代表取締役フミ・ササダ氏による事務所内の案内と参加者からのQ&A
- ・参加者：45名(参加費は無料)
- ・参加者数も徐々に増えてきており、交流会後のアンケートでも、満足度70%、今後の参加意向100%と好意的な意見が多かった。反面、開催時刻が昼では参加したくてもできないという意見もあり、今後、交流会後でも見ることができるよう編集した動画を作成することを検討している。
- ・次回第3回は4月2日(金)15:00～17:00、高知県の梅原デザインを訪問する予定。

## ●60周年記念事業アジアパッケージデザイン会議(APD)

森理事より、資料に基づき、昨年11月の奈良での開催が延期となったAPDについての現状報告があった。

- ・開催予定日：2021年11月18日（木）
- ・開催方法※：フルオンライン(zoomウェビナー)

※奈良の春日野国際フォーラム「薨」にパブリックビューイングも可能なメインスタジオ（容易に複数の同時通訳ブースを設置できる場所であるとともに、大人数のスタッフが集まることが可能な場所）を設ける予定。  
(東京での設置も検討)

- ・参加予定国：韓国、上海、台湾、日本+ゲスト参加としてタイ、インドネシアの6カ国・地域のパッケージ関連団体

- ・会議の概要：

- ① 基調講演・各団体のエリアレポート（APD終了後1ヶ月程度自由視聴可能）
- ② APD声明⇒参加全団体による未来への取り組みを声明として発表
- ③ APD展⇒APDサイトの2021年10月～2022年9月まで公開（その後アーカイブ）
- ④ APD大賞※⇒APD展出品作品より約60点（仮）の受賞作品を選出

※アジア初のプロフェッショナルパッケージアワードの創設

- ⑤ APD貢献賞⇒前回の台湾開催からスタート、4回で一旦終了の予定

- ・参加費：10,000円(APD各種ウェビナー視聴、APD展出品※/サイト掲載、APD大賞応募/審査料 全て込み)※追加1作品はプラス10,000円  
決裁は今後の知見となるトライアルとして、参加希望者が各自がサイトから各種カードまたはペイ系で決裁する方法を検討。
- ・オンライン国際会議はJPDAとして初めての試みでもあり、決裁方法だけではなく、全体の会議の運営についても今後の知見を深めるトライアルと考えているとのこと。
- ・加藤専務理事より、「APDに出品する作品（市販品）を持たない人も応募できるのか」との質問があり、森理事からは「市販されていない作品でも出品は可能としたい」とのコメントがあった。

井上副理事長より、昨年同時開催を検討していたJPDAデザイン会議との関連をどうするかについて、以下の補足があった。

- ・理事長以下関係者との打合せで、2021年11月も昨年同様に60周年記念事業と位置づけ、APDとのオンライン同時開催としたい。

したがって、公益法人として国内の非会員にも参加を募っていく。

2022年以降のJPDAデザイン会議は安全の担保を前提にリアルでの開催を検討していくこととする。

- ・今回の60周年記念事業APDの準備運営は国際交流委員会と西日本委員会が主体となって検討を進め、グラフィック関係等の制作は主に国内交流委員会、東日本委員会が担当することとする。

⇒この内容についてはとくに異論が出なかったので、今後提案通りの形で進めていくこととする。

## ●出版

石浦理事より、資料に基づき、2021年度に計画している「企画本2」の企画概要についての説明があった。

- ・JPDAは、ある基準をもって大賞コンペの審査で選んだ「良い」パッケージを年鑑を通して発表してきたが、説明しづらいが個人的な主観で「ステキ」と思うパッケージデザインの魅力・価値を広く本として世の中に披露しても面白いのではないかという発想のもとに、現在「ステキなパッケージ」というタイトルの企画本を出版委員会で検討している。
- ・これまでとは異なる視点の本を出版することで、今まではJPDAにあまり興味をもっていなかった方々にも振り向いていただき、大賞コンペへの応募や協会への入会などに繋げていきたい。広報委員会との協力もあり得ると考えている。
- ・掲載作品は推薦者の一言を加えるなど、年鑑とは異なるさりげない親しみを覚える編集を考えていきたい。
- ・梅原理事から「もの作りのリズムをもって進めていきたい」とのコメントがあった。
- ・これに対し、伊藤理事長、井上副理事長からは、多様性の時代でもあり、パッケージの奥深さをアピールするような、これまでとは違った価値を求めることは必要と思うので積極的に進めてほしいという賛同の意見があった。

## ●調査研究

中越理事より、資料に基づき、調査研究委員会が出展したTOKYO PACK (2/24～26、東京ビッグサイト、主催：(公社)日本包装技術協会) についての報告があった。

- ・TOKYO PACK全体では、3日間の入場者数73,698名(前回2018年：209,409名)と、コロナ禍の中、出展社数とともに前回の1/3程度でやや寂しい感があった。
- ・調査研究のブースは巡回展ブースの隣りであったが、そこでは2018年から委員会で議論してきた「パッケージデザインの価値はどうなるか」のまとめとして、「こんな未来わくわくしませんか？」の具体例として、6つの未来の生活シーンをパネルで紹介し、その実現性とユーザー価値について来場者の反応をみた。この資料は日本包装専士会、未来包装研究会から技術面他多くのサジェスチョンを得て作成されたものであった。
- ・期間中の2月25日には中越理事により、「JPDAの研究会から見えてきた未来」と題したパッケージデザインセミナーが開催され、33名の出席者を得た。この資料はセミナ

一終了後、出席者とブースに来場者した希望者を含め、60名に送っているとのこと。

#### ●中日本

伊藤(雅)理事より、本日3/10(水)～3/15(月)の間、名古屋国際デザインセンター・デザインギャラリーで開催する「日本パッケージデザイン大賞2021巡回展」(国際デザインセンターとの共催)についてポスター・チラシ・会場レイアウトを見せながらの報告があった。

- ・入場者数はコロナの影響もあり、大きな期待は難しいと思うが、3/13(土)の伊藤理事長、中日本会員の小野彩子氏(金賞受賞)、平井秀和氏(銅賞受賞)3名による「デザイントーク」は定員35名がほぼ埋まっている状況にある。また、TOKYO PACKで使ったバナナを入口に掲示したが、賑わいもあって大変よかったと思っている。

⇒最終的に期間中の入場者は374名(6日間)、デザイントークの出席者は定員の35名であったとの報告があった。

- ・加藤(桑)理事から、「TOKYO PACKも含めて、来場者に「My Favorite Package」を書いてもらうようなアンケートをとった方がよかったと思う」という意見があり、今後の検討事項となった。(三原理事より「QRコードを使ったオンラインアンケートは簡単でよいと思う」というサジェスションがあった。)

#### ●西日本

松尾理事より、資料に基づき、西日本勉強会「こえる」Vol.3「SNSでつながる発信術」について以下の報告があった。

- ・開催日：2021年3月5日(金) 15:00～17:00
- ・開催方法：オンライン(zoom)
- ・参加者：150名(申込者 258名) 参加費は無料
- ・講師：さとうコージ氏、清水雄一郎氏
- ・講師はお二人とも情報発信力の大きい方であり、学生の申込者が多かった。  
SNSは今後もJPDAにとって重要な発信ツールになると感じた。
- ・終了後のアンケートでは参加者の約80%がJPDAのイベントには初参加であり、JPDA会員は比較的少なかったとのこと。

#### ●展覧会

牛島理事より、資料に基づき、2021年9月に東京での開催を予定している第3回創作展「みらいパッケージ展」の準備状況の報告と過去2回の創作展出品作品を含めた図録のデザインについての提案があった。

- ・2020年11月20日の第1回に続き、3月26日(金)18:00～19:30に第2回目の出品予定者を交えてのzoom会を開催する予定。
- ・図録の表紙デザイン案・掲載例(1ページ/出品者1人)については、表紙英文ロゴについての指摘があったが、基本的に了解された。

## ●インターネット

中越理事より、資料に基づき、1月～3月の委員会活動（サイトの更新状況・事業レポートの掲載等：詳細は議案書参照）についての報告があった。

- ・このところ経産省からの新型コロナウイルス感染拡大に関連する周知依頼が多く見られる。これらに対しては、サイトに掲載するとともに、一部は会員メールで配信しているとのこと。
- ・「毎回のお願いだが、終了した事業のレポートを掲載するようにしてほしい」との再三の依頼があった。

## ●広報

加藤専務理事より、資料に基づき、2021年8月発刊予定の広報誌『JPDA MAGAZINE Vol.7』についての現状報告があった。

- ・Vol.7ではこの3月発刊の第2弾「教育関連」に続くシンポジウム第3弾として、全国各地から地域色豊かな作品の募集を募り、自作品もしくはオリジナル作品（1作品/1人）を掲載していきたい。
- ・3月理事会で再度報告した上でWebサイトを通じて募集をかける予定。
- ・伊藤理事長から、「この企画は応募者に1ページを売ることになるのか」との質問があり、再度広報委員会で検討することとなった。

## ●学生賞プロジェクト

三原理事より、資料に基づき、2022年から創設したいと考えているJPDA学生賞（コンペティション）の目的、運営方法等に関する報告と2021年度の準備についての報告があった。

- ・時田監事から、「創設の目的「WHY」のところ、「未来の会員育成を目指す」となっているが、これまでの説明では『学生に対し広くパッケージの面白さを広め啓蒙する』ではなかったのか」との指摘があり、三原理事より文言については検討していくとのコメントがあった。
- ・渡邊事務局長より、次回の理事会で2021年度の概略スケジュールを報告してほしいとの依頼があった。
- ・山崎理事からは、学生コンペの結果を出版物に反映させるのかどうかについて、出版委員会と相談する機会を設けてほしいとのコメントがあり、三原理事も了解した。

## ●教育・海外視察

永田理事より、2021年度の教育委員会と国際交流（海外視察準備）の活動について、以下の口頭による報告があった。

- ・教育委員会では、海外のデザイナーを招いてのオンラインセミナーを2回開催したいと考えている。7月頃までに1回目の開催を考えたいので、パッケージデザインの学校と国内交流の「みんなでつなごうデザインの輪！」の開催スケジュールが決まり次

第共有させてほしい。

- ・海外視察に関しては、ロンドンにいるイギリス人デザイナーにアテンドをお願いしたいと考えていたが、コロナ禍で日本からの視察は難しいと思われることから、オンラインでのデザイン事務所の視察を含め具体的な内容を検討していきたい。

#### ●コンペティション

小原理事より、中止となった2月1日の贈賞式に代わるものの検討状況について、以下の口頭による報告があった。

- ・3月の完成を目指して、コンペ全般に関する動画を作成し、これまでのサイト・メルマガにとどまらずフェイスブック・ツイッターからの発信も考えたい。
- ・動画については、リモートでの審査風景をはじめ、外部特別審査員へのインタビュー、大賞受賞者（サントリー伊右衛門）と伊藤理事長との対談等の内容で20分程度のものになると思う。

#### ●出版

山崎理事より、5月発刊予定で進めている『年鑑 日本のパッケージ2021』に関して、以下の口頭による報告があった。

- ・現在入稿の真っ最中だが、コンペ委員会と同様に画像制作を含めてまとめているところである。
- ・今回は広告出稿に懸念があったが、現時点で15社からの出稿が決まっており、前回（18社）からは若干減るもののほっとしているとのこと。

#### 第10号議案 次回理事会開催の件

伊藤理事長より、次回の理事会開催について以下の案内があった。

日時：令和3年4月14日（水）午後1時30分～5時00分

場所：オンライン（zoom）

次回の主な議題は各委員会からの2020年度収支計算書の承認、及び、協会全体の2020年度活動実績と収支決算報告になるとのこと。

以上

（以下余白）